

胃腸炎／かぜの中期から後期の症状



柴胡桂枝湯

第2類医薬品

63錠
7日分

販売名：柴胡桂枝湯錠OM

体力中等度又はやや虚弱で、多くは腹痛を伴い、
ときに微熱・寒気・頭痛・はきけなどのあるものの次の諸症：
胃腸炎、かぜの中期から後期の症状

1回3錠／1日3回

吸湿しやすいため、服用のつどチャックをしっかりとしめること

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。又、必要な時に読めるよう大切に保管してください

販売名：柴胡桂枝湯錠OM 第2類医薬品 63錠

▲ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 服用後、右記の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位(かぜの中期から後期の症状の場合には1週間位)服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能又は効果】 体力中等度又はやや虚弱で、多くは腹痛を伴い、ときに微熱・寒気・頭痛・はげけなどのあるものの次の諸症：胃腸炎、かぜの中期から後期の症状

【用法及び用量】 次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。

成人(15歳以上)1回3錠、15歳未満5歳以上1回2錠、5歳未満は服用しないこと

<用法及び用量に関連する注意>(1) 用法・用量を厳守してください。(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

【成分及び分量】 柴胡桂枝湯錠OMの1日量(9錠)中には柴胡桂枝湯エキス(1/2量)1900mgを含む。(サイコ2.5g、ハンゲ2.0g、オウゴン・シャクヤク・タイソウ・ニンジン各1.0g、ケイヒ1.25g、カンゾウ0.75g、ショウキョウ0.25gより抽出。)

添加物として、二酸化ケイ素、CMC-Ca、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg、タルク、セルロース、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、カラメル、カルナウパロウを含有する。

【保管及び取扱上の注意】 (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にチャックをしっかりと閉めて保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。(5) 水分が錠剤につきますと、変色又は色むらを生じることがありますので、水滴を落としたり、ぬれた手で触れないでください。

製造販売元 大峰堂薬品工業株式会社

奈良県大和高田市根成柿574

お問い合わせ先

消費者相談窓口 電話：0745-22-3601

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造番号

使用期限

副作用被害救済制度
0120-149-931

TE-1



4 987304 001512